

---

# Java

if文（判定）応用

---

## 8 時間目

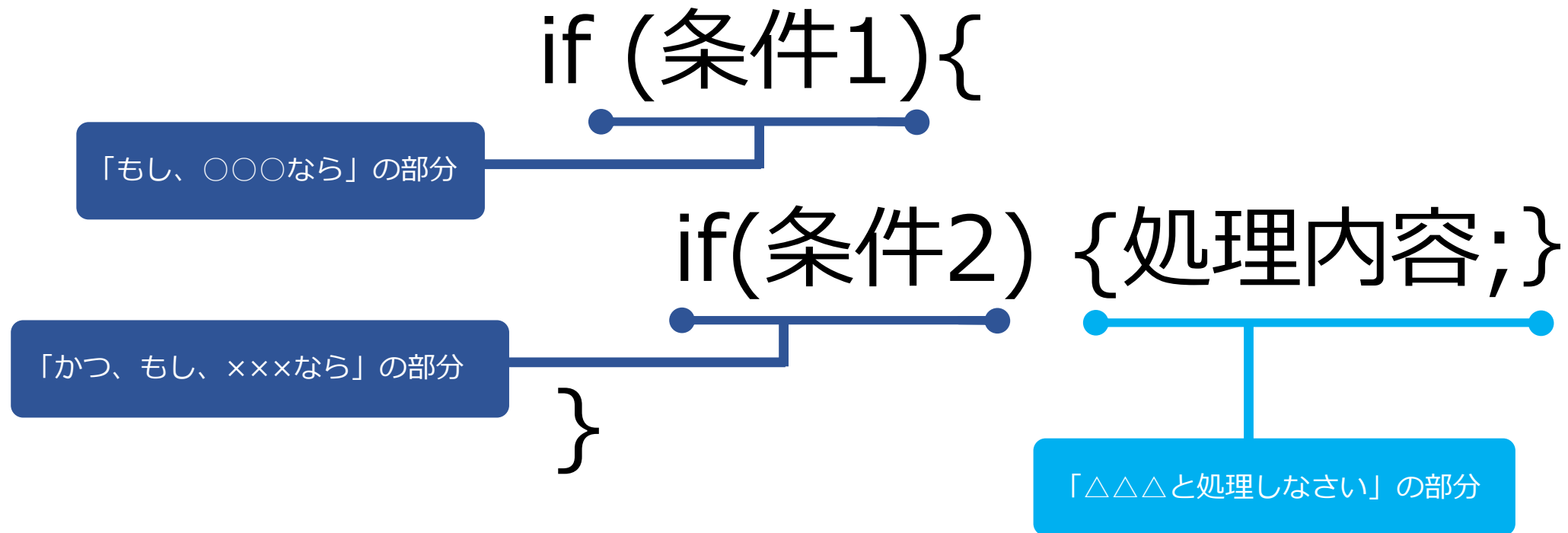
# 条件分岐 ～入れ子（＝ネスト）～

ネストとは、「if文の中に、if文を書くこと」

**もし○○○なら、  
かつ、もし×××なら、  
△△△と処理しなさい**

というイメージです。

# ネスト (=入れ子) の書き方



例) もし、"ある数"(a)が10より大きい場合で  
かつ、"ある数"(a)が30未満の場合、Aと表示する。

Javaファイル

```
int a = 20;  
  
if(a > 10){  
    if(a < 30){  
        System.out.println( "A" );  
    }  
}
```

A

2つの条件に該当する(TRUE)なのでAと表示

例) もし、"ある数"(a)が3より大きい場合で  
かつ、"ある数"(a)が10未満の場合、Aと表示する。

Javaファイル

```
int a = 7;  
  
if(a > 3){  
    if(a < 10){  
        System.out.println( "A" );  
    }  
}
```

A

2つの条件に該当する(TRUE)なのでAと表示

例) もし、"ある数"(a)が10より大きい場合で  
かつ、"ある数"(a)が30未満の場合、Aと表示する。

Javaファイル

```
int a = 50;  
  
if(a > 10){  
    if(a < 30){  
        System.out.println( "A" );  
    }  
}
```

2つの条件に該当しない(FALSE)ので  
何も表示されない

# if文 + else(elseif) + ネスト の組み合わせ

if文 と else(又は elseif) と ネストを  
組み合わせることで  
様々な条件下で様々な処理が可能

例) もし"ある数"(a)が0より大きいとき、  
"ある数"(a)が2と等しければ、Aと表示する。  
そうでない場合で、"ある数"(a)が3と等しいとき、Bと表示する。  
それ以外の場合は、Cと表示する。

Javaファイル

```
int a = 10;

if( a > 0 )
    if( a == 2 ){
        System.out.println( "A" );
    }elseif( a == 3 ){
        System.out.println( "B" );
    }else{
        System.out.println( "C" );
    }
}
```

C



- 例) もし"ある数"(a)が0より大きいとき、  
"ある数"(a)が2と等しければ、Aと表示する。  
そうでない場合で、"ある数"(a)が3と等しいとき、Bと表示する。  
それ以外の場合は、Cと表示する。

Javaファイル

```
int a = 2;  
  
if( a > 0 )  
    if( a == 2 ){  
        System.out.println( "A" );  
    }elseif( a == 3 ){  
        System.out.println( "B" );  
    }else{  
        System.out.println( "C" );  
    }  
}
```

A

例) もし、"ある数"(number)が100以下のとき、  
"ある数"(number)が20以下の場合は、未成年と表示。  
そうでない場合で、77の場合は喜寿、88の場合は米寿と表示し、  
それ以外は成人と表示する。

Javaファイル

```
int number = 88;

if(number <= 100){
    if(number < 20){
        System.out.println("未成年");
    }elseif(number == 77){
        System.out.println("喜寿");
    }elseif(number == 88){
        System.out.println("米寿");
    }else{
        System.out.println("成人");
    }
}
```

米寿

例) もし、"ある数"(number)が100以下のとき、  
"ある数"(number)が20以下の場合は、未成年と表示。  
そうでない場合で、77の場合は喜寿、88の場合は米寿と表示し、  
それ以外は成人と表示する。

Javaファイル

```
int number = 36;

if(number <= 100){
    if(number < 20){
        System.out.println("未成年");
    }elseif(number == 77){
        System.out.println("喜寿");
    }elseif(number == 88){
        System.out.println("米寿");
    }else{
        System.out.println("成人");
    }
}
```

成人

例) もし、“ある数”(number)が100以下のとき、  
“ある数”(number)が20以下の場合は、未成年と表示。  
そうでない場合で、77の場合は喜寿、88の場合は米寿と表示し、  
それ以外は成人と表示する。

Javaファイル

```
int number = 110;

if(number <= 100){
    if(number < 20){
        System.out.println("未成年");
    }elseif(number == 77){
        System.out.println("喜寿");
    }elseif(number == 88){
        System.out.println("米寿");
    }else{
        System.out.println("成人");
    }
}
```

いずれの条件にも該当しない(FALSE)ので  
何も表示されない